

財団法人まちみらい千代田  
平成17年度第3回理事会議事録

1 日 時

平成17年10月14日（金） 午前10時から午後11時4分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア5階505～6会議室（千代田区神田錦町3-21）

3 理事現在数 18名

4 出席者及び欠席者

(1) 出席理事（11名）

理事 大賀公子、理事 長田貴雄、理事 川崎侑孝、理事 北澤悦子、  
理事 窪田文弘、理事 佐藤喜子光、理事 高橋陽子、理事 中島典夫、  
理事 平出信人、理事 松岡忠男、理事 山田秀貴

(2) 委任状提出者（7名）

理事 小嶋勝衛、理事 西郷之厚、理事 藤江賢治、理事 林勇、  
理事 堀田康彦、理事 三浦鉄光、理事 師岡文男

(3) その他の出席者

事務局長 櫻井秋楽、事務局次長 石嶋光代

5 議 題

(1) 報告事項 家守塾の実施について

(2) 報告事項 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

6 開会、議事録署名人の選任

会議に入る前に、事務局から、平成17年10月7日に開催した第3回評議員会において、岩本房幸理事及び篠田公一郎監事から辞任の申し出があり、両氏の辞任の承認と合わせて、その後任として、理事に株式会社N T T東日本—東京中央 代表取締役社長の大賀公子氏が、監事に千代田区会計室長の加納建治郎氏が、それぞれ選任された上、新たに東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画担当部長の三浦鉄光氏が、理事に選任されたことを紹介した。

理事長の開催挨拶後、事務局から寄附行為第26条の規定により、議長には理事長が当たることになっている旨を伝え、長田理事長が議長に就き、開会を宣言した。

議長は、定足数について、事務局に出席者の報告をさせ、寄附行為第27条の規定に定

める定足数を満たしていることを確認し、理事会が有効に成立している旨を報告した。

引き続き、本理事会の議事録署名人として議長から、北澤悦子理事と中島典夫理事の2名を指名したい旨を諮ったところ、満場一致の賛成があったので、両理事を指名し、本人もこれを承諾した。直ちに議案の審議に入った。

## 7 議事の経過及び結果

### (1) 報告事項 家守塾の実施について

事務局から、今年度から実施している家守塾について、開催主旨や講義等の実施内容について、配付資料を基に詳細な報告を行った。

### (2) 報告事項 財団法人まちみらい千代田事業進捗状況について

事務局から、平成17年度の事業実施の状況について、産業振興、観光・伝統文化、人材育成の、各分野に分けて説明するとともに、平成18年度に向けた事業推進の基本的な考え方について、配付資料を基に詳細な報告を行った。

なお、その際、次のような質疑応答や意見があった。

- 江戸天下祭の実施に伴い、無料の巡回バスを運行するとの説明があったが、丸の内などの地域だけでなく、区内全域を広く巡回できないのか。区内の観光に資するものになるのではないのか。

(事務局)

今回の江戸天下祭の実施に伴い、区内で神田古本まつりや秋葉原エンタまつりといった、多くのイベントが同時に開催されているため、千代田区に来られた方の回遊性を広くもたせて、これらイベントの多くを1日でご参加いただく目的で、巡回バスを運行したものであるが、観光のための巡回バスについて、今後検討を行っていきたい。

- 総務省のICT活用による住民参加実証実験のためのモニターの役割と、モニター調査の内容は、どのようなものか。

(事務局)

12月中旬から来年2月までの間、総務省の実証実験のためのフィールドとして千代田区が選定され、友人の紹介によってのみコミュニティサイトに参加できる新しいインターネットの技術として、日記、アンケート及び地図情報を用いて、様々な交流ができるものが、地域SNSである。区民の皆さんが時間の制約なく、気軽に行政参画やコミュニケーションの輪に参加いただけるような、システムの構築に向けた取り組みである。区民だけでなく、在勤・在学者も、今回の実証実験の参加対象としたい。また合わせて、公的個人認証の導入に向けた実証実験も行い、その参加者であるモニターに対し、アンケート調査を通じて、安全にシステムを導入するための問題点などについて、意見をいただくことにしている。

- 双方向での住民参加型の情報提供では、音声配信をする予定はあるのか。

(事務局)

18年度以降、ラジオ放送を使った地域コミュニティ情報の提供手段として、コミュ

ニティFMの構築に向けた調査研究を行う計画がある他、デジタルテレビのツール導入に向けた検討も行いたいと考えている。皆さんからの意見を伺いながら、検討を進めていきたい。

- 家守塾の受講生はどのような方なのか。タウンマネージャーとはどのような方を指すのか。

(事務局)

若い学生の方から、岡山からみえるNPO法人の方まで、幅広く受講されている。今年度の講師は大学教授が中心であるが、来年度からは地元のまちの方からもご参加いただき、まちづくりに生かしていく予定である。タウンマネージャーとは、まちの将来のあり方を見据えて、道路などの基盤整備とまちにふさわしい事業との調整を図るなど、まちを活性化していく上で必要なものを補っていく役割を果たす人のことである。

## 8 その他

事務局から、次回の評議員会は平成18年2月頃に開催を予定していることを伝えた。

## 9 閉会

以上をもって全ての議題の審議を終了したので、午前11時4分に議長は閉会を宣言し、解散した。

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに署名、押印する。

平成17年10月14日

財団法人まちみらい千代田  
平成17年度第3回理事会

議 長 長 田 貴 雄 ㊟

議事録署名人 中 島 典 夫 ㊟

議事録署名人 北 澤 悦 子 ㊟